

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	株式会社荒馬座
公演団体名	民族歌舞団荒馬座

内容
<p>■ソーラン節・和太鼓の体験</p> <p>「ソーラン節」体験：本公演で取り上げる演目「ソーラン節」の踊りの基本の振りを体験 和太鼓体験：太鼓の基本から「ソーラン節」の伴奏の太鼓を体験</p> <p>【導入】・講師自己紹介／・ワークショップの説明／・「ソーラン節」実演、基本の振りの説明 【展開】・踊りの基本の振りの練習／・かんたんな構成の練習 ・和太鼓の体験（「ソーラン節」の伴奏の太鼓の練習） 和太鼓の基本、バチの持ち方・構え方から、「ソーラン節」の太鼓の伴奏 ・太鼓の伴奏に合わせて「ソーラン節」を踊る 【まとめ】・グループに分かれてお互いに見合う・本公演の作品紹介</p> <p>【コロナ対策版】</p> <p>1) 実施に際して、できるだけ少人数で、児童間の間隔を取り、換気等に十分配慮する。 2) 状況に応じて、講習時にはマウスシールド・マスクを着用する 3) 対面で実施できない場合は、代替方法として、教材送付（ウェブ鑑賞含む）、オンライン実施（Zoom など）の形式でおこなう。</p>

タイムスケジュール（標準）
学校の1校時を1単位とする（概ね45分と想定） 導入：5分 展開：30分 まとめ：10分

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
主講師×1名、補助者×3名

学校における事前指導
特になし 【コロナ対策版】 オンライン実施（Zoom など）の対応

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	株式会社荒馬座
公演団体名	民族歌舞団荒馬座

演目
作品名：『ふるさとまつり四季彩々』—春夏秋冬おまつりをしてはたらいて プログラム： 【春】十二月囃子／庭田植え～えんぶり／田植え唄／水口囃子／ソーラン節 【夏】箏の演奏～七夕・ホタル／雨乞い太鼓 【秋】言い伝え～豊年さんさ【冬】秩父屋台囃子／獅子舞 エピローグ 十二月囃子 【コロナ対策版】 1) 実施に際して、児童間の間隔を取り、換気等に十分配慮する。 2) 体育館舞台の使用など、舞台スペースと客席スペースの間隔を十分に確保する。 3) 状況に応じて演出変更をおこない、一部二部形式で休憩換気の時間を取る。上演時間短縮も検討する。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
出演者：3名／スタッフ：1名／計：4名

タイムスケジュール（標準）
8:00 着・搬入・舞台設営 10:00 リハーサル（11:00 ワークショップ）※当日実施の場合のみ 13:00 開演（10分前開場） 14:00 終演～片付 16:00 退出 【コロナ対策版】 1) PCR検査または抗原検査の実施（月一回程度） 2) 毎日の体温測定・体調管理の徹底 3) 搬入・舞台設営・リハーサルの間はマスクを着用する

実施校への協力依頼人員
本公演を午前中に実施する場合、早めの時間の鍵開け

演目解説

【春】

プロローグ：お囃子・口上によって登場

◆十二月囃子…玉すだれを操りながら、お囃子と口上で季節のお祭りの一年を巡ります。

◆庭田植え・えんぶり…

◆水口囃子…秋の豊作を願って春祭りに囃される予祝のお囃子。軽快な笛のメロディーにのり、リズムカルな鉦の音に合わせて、大太鼓と小太鼓が軽妙な掛け合いをするさまが印象的なお囃子。和のリズムをたっぶり楽しめます。

◆ソーラン節…「ソーラン節」の始まりを北海道のニシン漁のお話と踊りで。

※踊りの伴奏の太鼓を児童生徒4名にしてもらいます。

【夏】沖縄の七夕まつり

◆箏の演奏～七夕・ホタル◆雨乞い太鼓

◆言い伝え～豊年さんさ

東北地方に伝わる「さんさ踊り」の成り立ちの言い伝えと、手踊りと太鼓と笛による「豊年さんさ」の踊り

【冬】

◆秩父のお囃子…秩父地方の四季や養蚕・機織りなどの地場の労働を唄った「秩父音頭」。

厳しい冬に向かって冬祭りの中で力強く囃される「秩父屋台囃子」など

◆獅子舞…粋な江戸囃子によって軽快に舞う江戸寿獅子。公演の最後に「商売繁盛」「家内安全」「厄除厄払」といった人々の願いを込めて舞います。

◆エピローグ 十二月囃子

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

「ソーラン節」で、事前ワークショップで体験した和太鼓で代表の児童生徒に共演してもらおう。代表の子どもたちにしてもらい練習した「ソーラン節」の太鼓の伴奏によって演技者が唄い踊る。客席の児童生徒には手拍子で参加してもらおう。

児童生徒とのふれあい

上演中は全編通してお囃子が続いているので、そのリズムに合わせて手拍子をしてもらったり、リズムに乗って身体を動かしたりして、和のリズムの心地よさを体感してもらおう。**状況が許せば、児童生徒の入場退場に演技者が誘導・送り出しをして直にふれあう機会を持ちたい。**